

# 景況調査

(平成28年1月～3月期)

平成28年1月～3月期の山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成28年1月～3月期の調査結果では、売上高、業況、採算の主要3指標で前回調査より数値が上昇した。

## 〈業況〉

業況DIは▲11.9で前回調査の▲14.3から2.4ポイント上昇した。業種別では、小売業▲14.3(前回調査比▲14.3)、製造業▲30.8(前回調査比▲39.1)、建設業▲16.7(前回調査比▲16.7)、サービス業▲13.3(前回調査比▲33.8)、卸売業▲20.0(前回調査比▲20.0)と建設業、サービス業、卸売業が上昇した。  
4月～6月期見通しは全体で▲25.9であり、見通しは明るくない。

## 〈売上高〉

売上高DIは▲6.5で前回調査より18.9ポイント上昇した。業種別では、小売業▲6.7(前回調査比▲21.1)、製造業▲7.7(前回調査比▲16.0)、建設業▲8.3(前回調査比▲0.8)、サービス業▲11.8(前回調査比▲35.3)、卸売業▲20.0(前回調査比▲80.0)であり、製造業の低下とそれ以外の業種の上昇という構図になった。

## 〈採算(経常利益)〉

4月～6月期見通しは全体で▲14.5となっており、減少の見込みである。  
採算(経常利益)DIは▲15.3で前回調査より6.4ポイント上昇した。業種別では、小売業▲13.3(前回調査比▲8.9)、製造業▲30.8(前回調査比▲12.6)、建設業▲0.0(前回調査比▲20.0)、サービス業▲6.7(前回調査比▲18.3)、卸売業▲40.0(前回調査

比▲20.0)で製造業と卸売業が減少している。

4月～6月期見通しは全体で▲25.9であり、今回調査実績から低下している。

## 〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲7.4で前回調査より0.1ポイント低下した。業種別では小売業▲13.3(前回調査比▲0.8)、製造業▲11.1(前回調査比▲11.1)、建設業▲8.3(前回調査比▲11.7)、サービス業▲0.0(前回調査比±0.0)、卸売業▲0.0(前回調査比±0.0)であった。

4月～6月期見通しは全体で▲6.0であり、今回調査実績より1.4ポイントの上昇となっている。

## 〈その他の意見〉

・若い年代の人に高齢者が蓄積した富が分配され、子や孫の世代の所得が増え消費経済を支える社会が望ましいと考える。  
・消費者の消費行動の変化などで、大型店に負けないよう販売価格をギリギリまで引き下げるような努力をしてもその努力を見てもらえるチャンスが少ない。

